

4月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

花粉採取

授粉作業に使用するため、花を摘み取り花粉の採取を行った。摘み取った花を機械にかけ、不要な部分を取り除いて葯のみの状態にした後、開葯機を使用して粗花粉にする作業を行った。花の状態によって採取できる花粉の量が変わるため、適した花を選びながら作業を進めた。



授粉作業

採取した花粉を使用し、梵天を使って授粉作業を行った。花の開花状況や天候を確認しながら、適切なタイミングで一つひとつ丁寧に授粉した。授粉は今後の実の付き方や品質にも影響する重要な作業のため、確実に花粉が付くよう意識して取り組んだ。



活動を行った感想など

花粉の採取作業では、花の状態によって採取できる花粉の量や質が変わるため、適した花を見極めながら作業することの重要性を感じた。

授粉作業では、協力隊1年目の頃は花粉がしっかり付いているか不安があり、多くの花に余分に花粉を付けてしまう場面があったが、今回は必要な箇所に必要な量を意識して作業することができた。3年目の作業ということもあり、昨年までより落ち着いて取り組めたと感じた。

今後の目標など

今後は摘果作業が本格的に始まるため、これまでの経験を活かしながら、より良い実を残せるよう果実の状態をしっかり観察して判断していきたい。また、3年目として作業のスピードだけでなく精度も意識し、より効率的に作業を進められるよう取り組む。

